

令和 7 年 度

議 会 の し お り

竹 原 市 議 会 事 務 局



市 章

City Emblem

竹を題材とし、竹の輪は市民の和を表し三方に広がる笹は平和で豊かな繁栄を象徴する。

昭和 38 年（1963）制定。

市役所所在地

〒725-8666

広島県竹原市中央五丁目 6 番 28 号

電話番号

（0846）22-7761

E-mail

gikai@city.takehara.lg.jp

<http://www.city.takehara.lg.jp/>

交通アクセス

◎新幹線三原駅から約 40 分

JR 呉線

◎広島バスセンターから約 70 分

高速バス「かぐや姫号」

◎広島国際空港から約 25 分

9 人乗り乗合タクシー

竹 原 市 民 憲 章

1. 郷土の自然を愛し、平和な美しいまちをつくりましょう。
1. きまりを守り、信じあえる住みよいまちをつくりましょう。
1. 働くことによるこびをもち、豊かなまちをつくりましょう。
1. 老人をうやまい、青少年の夢をすこやかにそだてましょう。
1. 健康なからだ、きれいな心で明るい家庭をきずきましょう。

市の木（竹）

City Tree (Bamboo)

まっすぐ伸びて信念を表し、市民
みんなが仲よくつながり合って成
長し、葉は広くひろがり、その緑は
平和を象徴するものです。

昭和 53（1978）年選定



市の花（梅）

City Flower (Plum)

清楚にして優雅な品性を保ち、
早春に力強く伸びる新しい枝と共
に咲き誇る花は、その薫りととも
にまさに市民性を象徴するにふさ
わしいものです。

昭和 53（1978）年選定



《竹原市の位置》

位 置／東経 1 3 2 度 4 7 分～1 3 3 度
1 分

北緯 3 4 度 1 7 分～3 4 度 2 6 分

面 積／1 1 8 . 2 3 km²

広 ば う／東西 2 1 . 2 km 南北 1 4 . 7 km

標 高／最高地 5 4 4 . 8 m

わたくしたちのまち

わたくしたちのまち竹原は、広島県沿岸部のほぼ中央に位置し、瀬戸内海国立公園の美しい海と緑の山に囲まれ、全国でも優れた町並みを残す特徴のあるまちです。

まちの中心部を流れる賀茂川流域一帯は京都・下賀茂神社の荘園になり、鎌倉時代に、竹原小早川家が創設されると賀茂川の下流に市（いち）が開かれ、竹原は小早川家の隆盛と共に発展しました。現在の竹原市全域は小早川家の領域に属します。

江戸時代に入ると慶安３年（１６５０年）に入浜式塩田が開かれ、竹原は急速に発展しました。瀬戸内海屈指の製塩地として繁栄した竹原で活躍した商人は、一方でその豊かな経済的基盤の上に注目すべき「竹原文化」を開花させ、頼山陽をはじめ多くの町人学者や文化人が輩出しました。

明治時代に入ると古くから商港として栄えた忠海に豊田郡役所や税務署、芸予要塞指令部が設置され、豊田郡の行政の中心地として大いに繁栄しました。

昭和７年三呉線の開通と昭和１２年三井金属鉱業の前身、昭和鉱業製煉所の操業により竹原市は近代的都市へと飛躍しました。昭和２７年以来、近隣１０か町村が合併し、昭和３３年１１月市制を施行しました。竹原を発展させた塩田は、昭和３５年塩田整備法により３００年余りの歴史を閉じましたが、その跡地は官庁街や商店街に生まれ変わりました。

昭和５２年に策定された第１次竹原市総合計画を基に、その未来像として「自然と産業が調和した魅力ある瀬戸内の公園都市」を都市づくりの基本理念と定め、芸南地域の中核都市として前進を続けてきました。さらに、２１世紀を迎えるにあたり、平成元年度に策定した第３次竹原市総合計画では、今後のまちづくりのテーマを「海と空のインター・クロス・シティ」、サブテーマを「文化と竹の公園都市竹原」と決めました。平成５年１０月開港の広島空港と山陽自

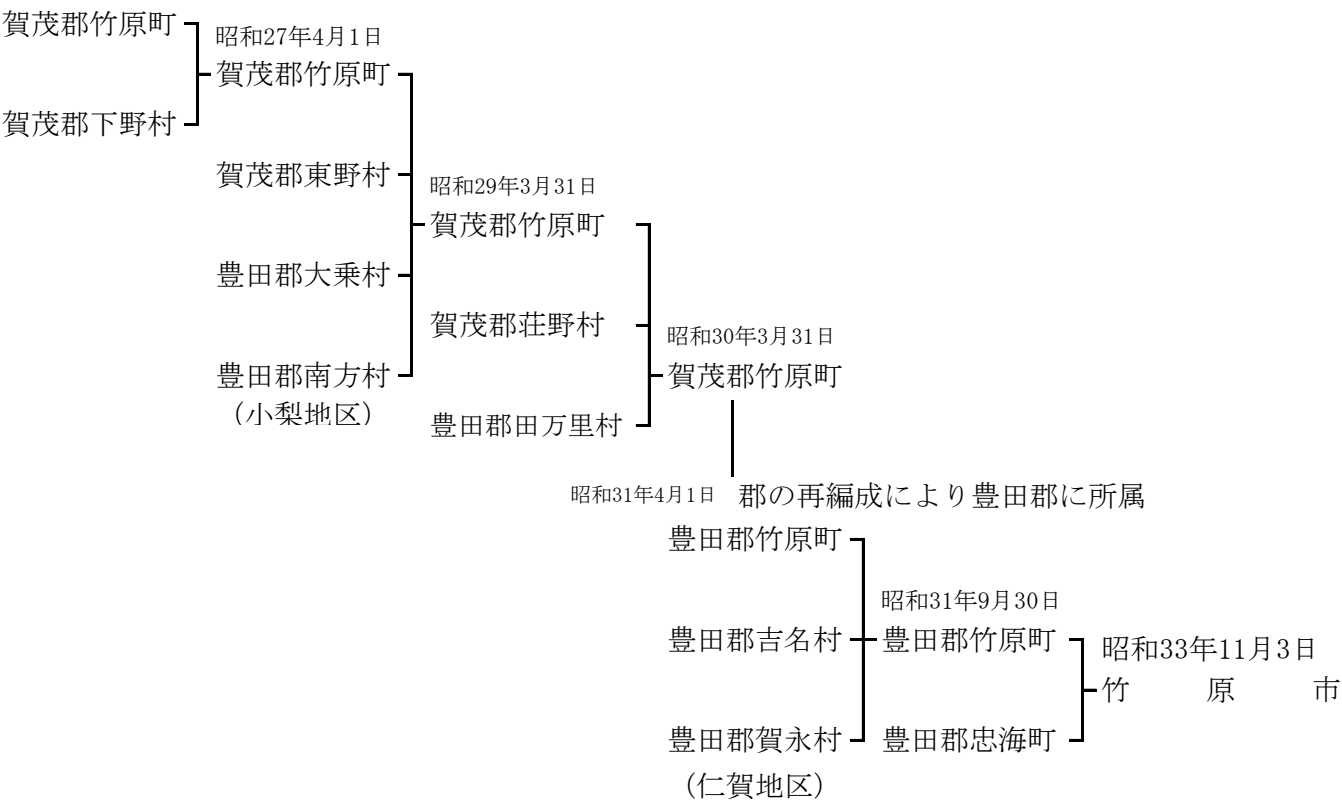
自動車道の県内全線開通、バンブー・ジョイ・ハイランド整備事業の完成、瀬戸内リゾート開発の完成、竹原工業・流通団地の完成、仁賀ダムの着工などが行われ本市を取り巻く環境は大きく変化してきました。

平成11年3月策定の第4次竹原市総合計画では、まちづくりの将来像を「瀬戸内に輝け！にぎわい文化都市 たけはら」と定め、活力、躍動、快適、安心、平等、安全を6つの街づくりの柱として施策を展開してきました。瀬戸内の小島が映す美しいシルエット、奇岩林立する霊峰黒滝の山並み、時代を越えて残る重厚な棒瓦の家並み、そして休暇村大久野島や湯坂温泉郷など、本市は魅力にあふれています。広島空港や山陽自動車道、四国愛媛・しまなみ海道への海の玄関口竹原・忠海港など、交通アクセスの充実により、本市の機能性は大きく向上いたしました。

平成21年3月策定の第5次竹原市総合計画では、これまでの将来像を尊重しつつ、めざす将来像を「住みよさ実感 瀬戸内交流文化都市 たけはら」と定め、本市の持つ自然環境や歴史文化、コミュニティなどの底力を発揮し、多彩な交流・ふれあい、さらなる歴史文化をはぐくみ、生きいきとした暮らしやまちの底力・魅力を継承・発展させ、訪れたい、住んでみたい、住み続けたい、そして住んでよかったと思えるまちを目指してまいりました。

平成31年4月には、「生まれて良かった、住んでよかった、帰ってきたい、住んでみたい」と思える元気な竹原市の実現を基本理念とする第6次竹原市総合計画を策定し、平成30年7月豪雨災害からの早期復旧・復興に取り組むとともに、10年後を見据えた将来都市像「元氣と笑顔が織り成す 暮らし誇らし、竹原市。」の実現に向け、本市が直面している多くの課題に向き合い、これを克服していくために、市民ニーズを踏まえた様々な取組を実施しています。

竹 原 市 の 沿 革



市 政 の あ ゆ み

昭和33年11月	市制施行
昭和35年4月	塩田整備法により塩田廃止
昭和41年8月	新市庁舎完成
昭和42年7月	電源開発・竹原火力発電所1号機(25万KW)運転開始
昭和45年10月	呉線電化完成
昭和49年7月	電源開発・竹原火力発電所2号機(35万KW)運転開始
昭和52年1月	第1次竹原市総合計画策定「自然と産業が調和した魅力あふれる瀬戸内の公園都市」
昭和57年12月	竹原町上市・下市地区の町並みが「国重要伝統的建造物群保存地区」に選定(文化庁)
昭和58年3月	電源開発・竹原火力発電所3号機(70万KW)運転開始
昭和61年3月	第2次竹原市総合計画策定「自然と産業が調和した魅力あふれる瀬戸内の公園都市」
昭和63年11月	第29回全国竹の大会を竹原市で開催
平成元年4月	第3次竹原市総合計画策定「海と空のインタークロスシティ」
平成6年8月	8月11日山林火災発生・焼失面積378ha 8月20日鎮火
平成6年10月	安芸長浜駅開業
平成7年10月	広島県秋の植樹祭をバンブー・ジョイ・ハイランドで開催

平成 8 年 1 0 月	第 5 1 回国民体育大会（ひろしま国体） 相撲、少年女子ソフトボール競技を開催
平成 1 0 年 8 月	「夏期巡回ラジオ体操会」をバンブー・ジョイ・ハイランドで 公開生放送
平成 1 0 年 9 月	国際文化交流フェスティバルを開催
平成 1 1 年 3 月	第 4 次竹原市総合計画策定「瀬戸内に輝け！にぎわい文化都市 たけはら」
平成 1 1 年 6 月	6・29 集中豪雨発生
平成 1 1 年 1 0 月	全国山火事対策シンポジウム開催
平成 1 2 年 1 0 月	森川邸 国登録文化財に登録 竹原の町並み 都市景観 1 0 0 選を受賞
平成 1 2 年 1 1 月	国民文化祭 ひろしま 2 0 0 0 文芸祭 連句大会開催
平成 1 3 年 3 月	芸予地震発生（3 月 2 4 日：震度 5 弱）
平成 1 3 年 1 0 月	2 0 0 1 ねんりんピック広島ウオークラリー交流大会
平成 1 4 年 1 0 月	スポレク広島 2 0 0 2 ゲートボール大会開催
平成 1 5 年 9 月	たけはら憧憬の路～町並アート開催
平成 1 7 年 3 月	構造改革特区計画及び地域再生計画の認定 （瀬戸内に輝く竹原自然・まちなみ再生特区計画及び 竹原にぎわい観光再生計画）
平成 2 0 年 8 月	「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」公開生放送
平成 2 0 年 1 0 月	東永谷製鉄遺跡を市史跡に指定
平成 2 1 年 3 月	第 5 次竹原市総合計画策定「住みよさ実感 瀬戸内交流文化都市 たけはら」
平成 2 1 年 4 月	東広島市消防局へ消防業務委託
平成 2 1 年 1 0 月	広島中央環境衛生組合設置
平成 2 4 年 6 月	国が「竹原市歴史的風致維持向上計画」を認定
平成 2 5 年 1 月	平成 2 4 年度「手づくり郷土賞（大賞部門）」受賞
平成 2 6 年 4 月	「宿根の大桜」竹原市重要文化財に指定
平成 2 6 年 7 月	「旧日の丸写真館」国登録有形文化財登録
平成 2 7 年 4 月	忠海学園 開校
平成 2 9 年 1 月	家庭ごみの指定ごみ袋制度開始
平成 3 0 年 4 月	義務教育学校 吉名学園開校
平成 3 0 年 7 月	7 月豪雨災害 死亡者 6 名（関連死 2 名含む）、住家被害 6 9 3 件
平成 3 0 年 1 2 月	旧吉井家住宅を竹原市重要文化財に指定
平成 3 1 年 3 月	第 6 次竹原市総合計画策定「 元気 と 笑顔 が織り成す 暮らし誇らし、竹原市。」
令和 元年 5 月	日本遺産「北前船寄港地・船主集落」に追加認定
令和 3 年 7 月	令和 3 年 7 月 7 日からの大雨による災害
令和 7 年 1 月	新市庁舎移転

第1 市 勢 概 要

1 市 制 施 行

昭和33年11月3日

※ 当時の人口 39,078人

世帯 8,671世帯

2 面 積

区 分	地 目 別 面 積						
	田	畑	宅地	山林	原野	雑種地	その他
総 面 積 (118.23km ²)	5.13	3.62	5.60	85.20	1.25	3.97	13.43
構 成 比 (100.0%)	4.3	3.1	4.7	72.1	1.1	3.4	11.4

(令和6年1月1日現在)

資料：固定資産税概要調書

3 人 口 ・ 世 帯 数

(国勢調査)

年 次	世 帯 数	人 口		
		総 数	男	女
昭和35年	8,738 世帯	36,424 人	17,328 人	19,096 人
昭和40年	9,089	35,018	16,533	18,485
昭和45年	9,754	35,017	16,647	18,370
昭和50年	10,694	36,273	17,324	18,949
昭和55年	11,431	36,895	17,673	19,222
昭和60年	11,601	36,286	17,291	18,995
平成2年	11,666	34,771	16,428	18,343
平成7年	11,931	33,451	15,809	17,642
平成12年	11,956	31,935	14,977	16,958
平成17年	11,852	30,657	14,306	16,351
平成22年	11,525	28,644	13,438	15,206
平成27年	11,197	26,440	12,566	13,874
令和2年	10,682	23,993	11,434	12,559

※ 令和7年3月31日現在 (住民基本台帳)

世 帯 数 : 11,797 世帯

人 口 : 22,343 人 (男 10,703 人 女 11,640 人)

4 産業別就業者数

(国勢調査)

年 次	第一次産業	第二次産業	第三次産業	分類不能	計
昭和35年	5,936 人	4,971 人	5,643 人	1 人	16,551 人
昭和40年	4,904	5,969	6,302	4	17,179
昭和45年	4,018	6,528	7,871	5	18,422
昭和50年	2,799	7,081	7,985	23	17,888
昭和55年	2,393	6,839	8,842	13	18,087
昭和60年	2,220	6,302	9,087	39	17,648
平成2年	1,630	6,286	8,996	8	16,920
平成7年	1,516	6,101	9,319	26	16,962
平成12年	1,143	5,233	9,120	29	15,525
平成17年	1,149	4,427	8,674	80	14,330
平成22年	770	3,705	7,814	306	12,595
平成27年	686	3,499	7,424	236	11,845
令和2年	547	3,366	7,249	0	11,162

5 行政組織……別 紙

6 職員数

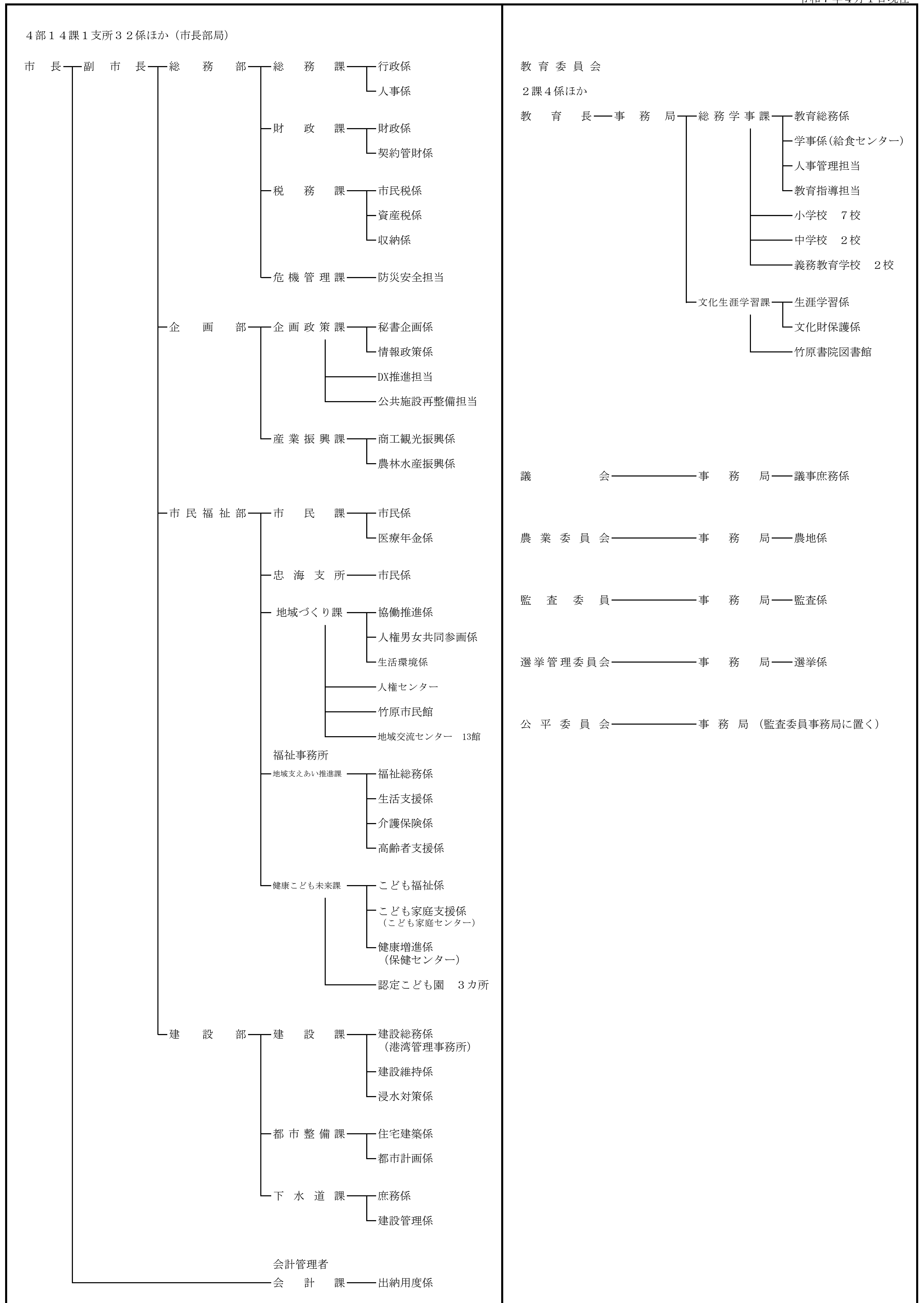
令和6年4月2日

区 分	条例定数	実 数		
		男	女	計
市長の事務部局の職員	293 人	129 人	94 人	223 人
議会の事務部局の職員	6	3	0	3
監査委員の事務部局の職員	3	2	0	2
教育委員会の事務部局の職員	87	18	7	25
農業委員会の事務部局の職員	4	1	0	1
選挙管理委員会の事務部局の職員	3	1	0	1
公平委員会の事務部局の職員	1	0	0	0
計	397 人	154 人	101 人	255 人

条例改正 令和5年2月20日

竹原市行政組織図

令和7年4月1日現在



第2 議 会

1 議会機構

(1) 議員定数

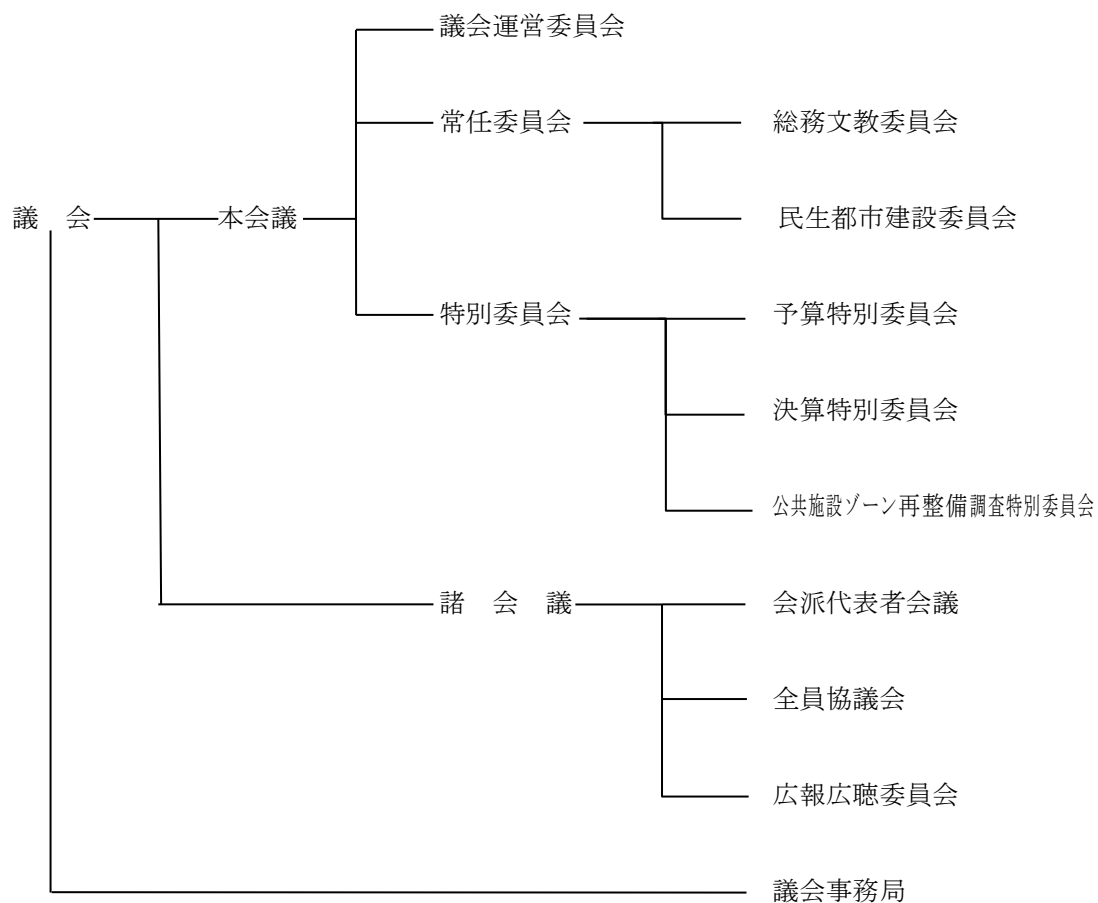
条例定数 14名

現員数 14名

議員定数	議決年月日	施行
30人→26人	昭.57. 9.14	昭.57.11選挙
26人→24人	昭.61. 6.27	昭.61.11選挙
24人→22人	平. 6. 4. 8	平. 6.11選挙
22人→20人	平.10. 9.22	平.10.11選挙
20人→18人	平.14. 9.24	平.14.11選挙
18人→16人	平.17.12. 2	平.18.11選挙
16人→14人	平.22. 9.15	平.22.11選挙

(2) 議会構成

①構成



② 常任委員会

ア 所管事項

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・総務文教委員会
(定数 7人) | 総務部の所管に属する事項
企画部の所管に属する事項
教育委員会の所管に属する事項
会計課、農業委員会、選挙管理委員会、監査委員及び公平委員会の
所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・民生都市建設委員会
(定数 7人) | 市民福祉部の所管に属する事項
建設部の所管に属する事項 |

イ 任期 2年

③議会運営委員会

ア 所管事項

- ・議会の運営に関する事項
- ・議会の会議規則、委員会条例等に関する事項
- ・議長の諮問に関する事項

イ 任期 2年

ウ 構成

- ・委員 6 人 オブザーバー 2 人（正副議長）
- ・委員は会派の所属人数により会派割り当て基準により選出

④特別委員会

○予算特別委員会

ア	設置	3月定例会
イ	構成	議長を除く全議員
ウ	審査対象	一般会計・特別会計・企業会計
エ	審査方法	予算特別委員会で個別審査→全体審査→採決（会計毎に）

○決算特別委員会

ア 設置	９月定例会
イ 構成	議長を除く全議員
ウ 審査対象	一般会計・特別会計・企業会計
エ 審査方法	所管毎に審議し、市歳入歳出及び水道事業採決

○公共施設ゾーン再整備調査特別委員会

- ア 構成 議長を除く全議員
- イ 審査対象 公共施設ゾーン再整備のあり方
- ウ 調査期限 議会において調査が終了するまで、閉会中も継続して調査を行う。

⑤諸会議

○会派代表者会議

- ア 構成 正副議長及び各会派・無所属議員の代表者をもって構成
- イ 協議事項 規定はないが、議会運営委員会の協議事項以外の事項を協議
 - ・議会関係条例、規定外のことでの申し合わせ等
 - ・会派に関すること
 - ・中間人事に関すること
 - ・市議会議員選挙後の初議会の運営に関すること
 - ・その他

○全員協議会

- ア 運営
 - ・市長又は議長の要請により開催 告示はなし
 - ・質疑の回数は規定しない
 - ・会議時間は概ね1時間とする
 - ・協議会での理事者の発言を本会議・委員会では質疑の対象としない
- イ 協議事項 会議は概ね報告を主とする（理事者からの）

○広報広聴委員会

- ア 構成 6名 委員は会派の所属人数により会派割り当て基準により選出
- イ 任期 2年
- ウ 発行 年4回 広報と併せ自治会に配布依頼
- エ その他 正副委員長加算手当等なし

⑥会派別・党派別構成

令和7年4月1日現在

会派別 (順不同)

会 派 名	議 員 数
改 進 会	2 人
飛 翔 会	6
無 所 属	6

党派別 (順不同)

党 派 名	議 員 数
公 明 党	1 人
日本共産党	1
無 所 属	1 2

⑦年齢別・当選回数別議員数

令和7年4月1日現在

	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回	8 回	9 回
3 0 ～ 3 9 歳									
4 0 ～ 4 9 歳	2			1					
5 0 ～ 5 9 歳				3					
6 0 ～ 6 9 歳		1			2				
7 0 歳以上	1		1					2	1
計	3	1	1	4	2			2	1

平均年齢 6 3 . 3 歳

(3) 正副議長名

令和6年11月18日改選

議 長	高 重 洋 介	副 議 長	山 元 経 穂
-----	---------	-------	---------

(4) 議員名簿

令和 4 年 1 1 月 2 9 日 議席指定

議席 番号	氏名	住所	電話番号	期数	年齢
1	平井明道	〒725-0013 竹原市吉名町 1964 番地	0846-25-1315	1	45
2	村上まゆ子	〒725-0021 竹原市竹原町 3414 番地 22	070- 9021-8223	1	45
3	蕎麦田俊夫	〒725-0023 竹原市田ノ浦一丁目 5 番 3 号	0846-22-1416	1	70
4	下垣内和春	〒725-0002 竹原市西野町 2157 番地	0846-29-1465	2	68
5	今田佳男	〒725-0026 竹原市中央四丁目 11 番 7 - 4 号	0846-22-2874	3	71
6	山元経穂	〒725-0012 竹原市下野町 4262 番地 46	0846-22-3164	4	48
7	高重洋介	〒725-0012 竹原市下野町 4216 番地 4	0846-22-7721	4	56
8	堀越賢二	〒729-2313 竹原市高崎町 1637 番地 1	0846-27-0603	4	58
9	川本 円	〒725-0013 竹原市吉名町 5216 番地 1	0846-28-0488	4	59
10	大川弘雄	〒729-2317 竹原市忠海東町三丁目 13 番 67 号	0846-26-4494	5	66
11	道法知江	〒725-0026 竹原市中央二丁目 19 番 14 号	0846-22-5480	5	67
12	吉田 基	〒729-2316 竹原市忠海中町二丁目 1 番 14 号	0846-26-2357	8	75
13	宇野武則	〒725-0026 竹原市中央四丁目 11 番 10 号	0846-22-1029	8	86
14	松本 進	〒725-0026 竹原市中央二丁目 18 番 8 号	0846-22-8949	9	72

(住所・年齢等は令和 7 年 4 月 1 日現在)

(5) 委員会名簿

ア 常任委員会

令和6年11月18日選任

◎委員長 ○副委員長

委員会名	定数	現員	委員長
総務文教委員会	7	7	◎堀越賢二 ○村上まゆ子 高重洋介 大川弘雄 道法知江 松本進
民生都市建設委員会	7	7	◎下垣内和春 ○今田佳男 平井明道 蕎麦田俊夫 山元経穂 吉田基 宇野武則

イ 議会運営委員会

令和6年11月18日選任

◎委員長 ○副委員長

委員会名	定数	現員	委員長
議会運営委員会	6	6	◎大川弘雄 ○堀越賢二 村上まゆ子 下垣内和春 宇野武則 松本進

ウ 諸会議

令和6年11月18日選任

◎委員長 ○副委員長

委員会名	定数	現員	委員長
広報広聴委員会	6	6	◎村上まゆ子 ○今田佳男 蕎麦田俊夫 堀越賢二 宇野武則 松本進

(6) 議会選出各種議会議員委員会委員名簿

令和6年11月18日選任

種 別	定数	現員	議 員・委 員 名
広島中央環境衛生組合議会	3	3	高 重 洋 介 道 法 知 江 堀 越 賢 二
広島県後期高齢者医療 広域連合議会	1	1	高 重 洋 介
広島県水道広域連合企業団 議会議員	1	1	高 重 洋 介
広島県市町総合事務組合	1	1	高 重 洋 介
竹原市民生委員推薦会委員	2	2	今 田 佳 男 下垣内 和 春
竹原市都市計画審議会委員	2	2	蕎麦田 俊 夫 川 本 円
竹原市青少年問題協議会委員	2	2	堀 越 賢 二 村 上 まゆ子
大久野島活性化協議会委員	1	1	蕎麦田 俊 夫

(7) 竹原市議会会派名簿

令和7年4月1日現在

※印は代表者

会派名	所属議員名
改 進 会	※ 今 田 佳 男 堀 越 賢 二
飛 翔 会	※ 道 法 知 江 大 川 弘 雄 川 本 円 山 元 経 穂 下垣内 和 春 村 上 まゆ子
無 所 属	松 本 進 (日本共産党)
	宇 野 武 則 (無所属)
	吉 田 基 (無所属)
	高 重 洋 介 (無所属)
	蕎麦田 敏 夫 (無所属)
	平 井 明 道 (無所属)

(8) 歴代正副議長

歴 順	議 長	
	氏 名	就・退任年月日
初代	堀 友 良 三	昭和 33. 12. 2 ～ 35. 9. 1
2	堀 友 良 三	昭和 35. 9. 1 ～ 37. 11. 22
3	水 内 信 夫	昭和 37. 11. 29 ～ 39. 11. 25
4	片 山 秀 樹	昭和 39. 11. 25 ～ 41. 11. 22
5	堀 川 誌 三	昭和 41. 12. 2 ～ 43. 12. 9
6	小 坂 隆	昭和 43. 12. 9 ～ 45. 11. 22
7	天 野 清	昭和 45. 12. 2 ～ 48. 3. 27
8	大 本 辰 雄	昭和 48. 3. 27 ～ 49. 11. 22
9	小 坂 隆	昭和 49. 12. 3 ～ 51. 12. 10
10	小 坂 隆	昭和 51. 12. 10 ～ 53. 11. 22
11	大 本 辰 雄	昭和 53. 12. 6 ～ 55. 12. 11
12	大 本 辰 雄	昭和 55. 12. 11 ～ 57. 11. 22
13	大 澤 靖 夫	昭和 57. 12. 3 ～ 59. 12. 12
14	竹 城 光 孝	昭和 59. 12. 12 ～ 61. 11. 22
15	大 本 辰 雄	昭和 61. 12. 5 ～平成元. 6. 23
16	岡 原 富 夫	平成元. 6. 23 ～ 2. 11. 22
17	平 田 孝 司	平成 2. 12. 6 ～ 4. 12. 15

歴 順	副 議 長	
	氏 名	就・退任年月日
初代	安 宿 政 一	昭和 33. 12. 3 ～ 37. 10. 9
2	前 本 鑠	昭和 37. 11. 29 ～ 39. 11. 25
3	新 中 益 一	昭和 39. 11. 26 ～ 41. 11. 22
4	大 本 辰 雄	昭和 41. 12. 2 ～ 43. 12. 9
5	大 本 辰 雄	昭和 43. 12. 9 ～ 45. 11. 22
6	保手浜 幸信	昭和 45. 12. 2 ～ 47. 12. 1
7	岡 原 富 夫	昭和 47. 12. 24 ～ 49. 11. 22
8	浜川 丈太郎	昭和 49. 12. 4 ～ 51. 12. 10
9	竹 城 光 孝	昭和 51. 12. 10 ～ 53. 11. 22
10	大 成 武 義	昭和 53. 12. 6 ～ 55. 12. 11
11	大 成 武 義	昭和 55. 12. 11 ～ 56. 12. 24
12	玉 井 忠	昭和 56. 12. 24 ～ 57. 11. 22
13	竹 城 光 孝	昭和 57. 12. 3 ～ 59. 12. 12
14	平 田 孝 司	昭和 59. 12. 13 ～ 61. 11. 22
15	吉 迫 治 明	昭和 61. 12. 5 ～平成元. 6. 23
16	上 本 房 雄	平成元. 6. 23 ～ 2. 11. 22
17	藤 村 宰	平成 2. 12. 6 ～ 4. 12. 15

1 8	藤 村 宰	平成 4.12.15 ～ 6.11.22
1 9	藤 村 宰	平成 6.12. 6 ～ 8.12.20
2 0	小 坂 明 三	平成 8.12.20 ～ 10.11.22
2 1	桶 本 浩 右	平成 10.12. 4 ～ 12.12. 6
2 2	黒 川 圭 三	平成 12.12. 6 ～ 14.11.22
2 3	吉 田 基	平成 14.12. 3 ～ 16.12.14
2 4	唐 崎 輝 喜	平成 16.12.14 ～ 18.11.22
2 5	天 内 茂 樹	平成 18.12. 6 ～ 20.12.10
2 6	小 坂 智 徳	平成 20.12.10 ～ 22.11.22
2 7	脇 本 茂 紀	平成 22.12. 2 ～ 24.11. 7
2 8	稲 田 雅 士	平成 24.11. 7 ～ 26.11.22
2 9	北 元 豊	平成 26.11.27 ～ 28.11. 1
3 0	道 法 知 江	平成 28.11. 1 ～ 30.11.22
3 1	大 川 弘 雄	平成 30.11.29 ～令和 2.11. 4
3 2	大 川 弘 雄	令和 2.11. 4 ～ 4.11.22
3 3	大 川 弘 雄	令和 4.11.29 ～ 6.11.18
3 4	高 重 洋 介	令和 6.11.18 ～ 現在

1 8	桶 本 浩 右	平成 4.12.15 ～ 6.11.22
1 9	坂 元 静 馬	平成 6.12. 6 ～ 8.12.20
2 0	藤 本 正 也	平成 8.12.20 ～ 10.11.22
2 1	天 内 茂 樹	平成 10.12. 4 ～ 12.12. 6
2 2	石 東 香	平成 12.12. 6 ～ 14.10. 8
2 3	小 坂 智 徳	平成 14.12. 3 ～ 16.12.14
2 4	實 藤 義 城	平成 16.12.14 ～ 18.11.22
2 5	宗 政 信 之	平成 18.12. 6 ～ 20.12.10
2 6	稲 田 雅 士	平成 20.12.10 ～ 22.11.22
2 7	北 元 豊	平成 22.12. 2 ～ 24.11. 8
2 8	道 法 知 江	平成 24.11. 8 ～ 26.11.22
2 9	大 川 弘 雄	平成 26.11.27 ～ 28.11. 1
3 0	高 重 洋 介	平成 28.11. 1 ～ 30.11.22
3 1	堀 越 賢 二	平成 30.11.29 ～令和 2.11. 4
3 2	山 元 経 穂	令和 2.11. 4 ～ 4.11.22
3 3	今 田 佳 男	令和 4.11.29 ～ 6.11.18
3 4	山 元 経 穂	令和 6.11.18 ～ 現在

2 議会活動

(1) 会議開催日数（過去5年間）

年 \ 日数	本 会 議			常 任 委 員 会		
	定例会	臨時会	計	総務文教	民生都市建設	計
R 2	1 8	7	2 5	1 6	1 0	2 6
R 3	1 8	1	1 9	1 2	1 3	2 5
R 4	2 0	3	2 3	1 4	1 0	2 2
R 5	1 8	1	1 9	1 3	1 6	2 9
R 6	2 0	1	2 1	1 3	1 1	2 4

(2) 本会議の開催状況（令和6年中）

区 分		会 期 日 数		会議日数	本会議時間	一般質問人数
定例会	3月	2 5 日	2 / 2 0 ～ 3 / 1 5	6 日	1 2 時間 2 8 分	7 人
	6月	1 1 日	6 / 1 8 ～ 6 / 2 8	4 日	6 時間 2 8 分	4 人
	9月	2 4 日	9 / 3 ～ 9 / 2 6	5 日	1 1 時間 1 2 分	6 人
	1 2 月	1 1 日	1 2 / 1 0 ～ 1 2 / 2 0	5 日	8 時間 5 8 分	7 人
	計	7 1 日	——	2 0 日	3 9 時間 6 分	2 4 人
臨時会	1 1 月	1 日	1 1 / 1 8	1 日	5 4 分	——
	計	1 日	——	1 日	5 4 分	——
合 計		7 2 日	——	2 1 日	4 0 時間 0 0 分	2 4 人

(3) 各種委員会・会議開催状況（令和6年中）

委員会・会議名		開催日数	審議時間	出席委員・議員数
常任	総務文教委員会	1 3 日	1 6 時間 3 6 分	8 0 人
	民生都市建設委員会	1 1 日	1 0 時間 3 4 分	7 1 人
議会運営委員会		2 1 日	5 時間 5 1 分	1 2 1 人
特別	予算特別委員会	6 日	1 7 時間 2 2 分	7 8 人
	決算特別委員会	5 日	1 1 時間 4 2 分	6 4 人
	公共施設ゾーン再整備調査特別委員会	6 日	1 2 時間 4 4 分	7 8 人
諸会議	会派代表者会議	3 日	5 時間 2 3 分	2 3 人
	全員協議会	1 日	1 時間 3 3 分	1 4 人
	広報広聴委員会	9 日	2 時間 3 3 分	5 4 人

(4) 議案の種類別議決状況（令和6年中）

区 分		3月 定例	6月 定例	9月 定例	11月 臨時	12月 定例
報 告	承認等	1	2		1	
	承認等 不要		5	3		
市長 提出	予 算	13	1	5		5
	決 算			2		
	条 例	17	4	5		8
	そ の 他	8	1	4		2
	人 事	4	1	1		2
	計	42	7	17		17
議員 提出	条 例	2		1		1
	決議・意見等	2	2	1		1
	計	4	2	2		2
選挙・選任等						
請 願						
陳 情						
合 計		47	16	22	1	19
議 決	可決・同意	47	16	21	1	19
	修 正 可 決					
	否 決			1		
	承認等不要					
	継 続 審 査					

(5) 質疑・質問

- ア 質疑
- ・ 質 疑 回 数 : 3 回
 - ・ 質 疑 時 間 : 2 時間
 - ・ 発 言 場 所 : 自席
 - ・ 通告制の有無 : 有り (実務上無し)
- イ 一般質問
- ・ 通告制の有無 : 有り (内容を具体的に記述)
 - ・ 通告締切期日 : 告示日前日の 1 2 時まで
 - ・ 代表質問有無 : なし
 - ・ 質 問 順 位 : 抽選による
 - ・ 質問答弁方法 : 初回 一括方式 二回目以降 一問一答方式も可能とする
 - ・ 質 問 回 数 : 制限なし
 - ・ 質 問 時 間 : 9 0 分 (答弁を含め)
 - ・ 発 言 場 所 : 初回 登壇 二回目以降 自席

(6) 視察来庁者

年 度 区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
都市数	0	0	7	15	11
人 数	0	0	38	94	81

3 議員報酬・手当・費用弁償等

(1) 報酬

役 職 名	月 額	役 職 名	月 額
議 長	440,000円	市 長	815,000円
副 議 長	395,000円	副 市 長	665,000円
議 員	355,000円	教 育 長	610,000円
改 定 日	平成13年4月1日	改 定 日	平成13年4月1日

※委員長12,000円加算 副委員長5,000円加算

報酬額の改定推移

(単位：千円)

区 分	昭和 51.6	昭和 53.4	昭和 55.4	昭和 59.4	昭和 61.4	昭和 63.4	平成 2.4	平成 4.4	平成 13.4
議 長	150	180	210	250	305	335	370	410	440
副議長	132	158	185	225	275	302	335	370	395
議 員	115	138	160	200	245	270	300	330	355

(2) 期末手当

6月期支給額 報酬 $\times 1.15 \times 2.30 / 100$

12月期支給額 報酬 $\times 1.15 \times 2.30 / 100$

(3) 費用弁償

①委員会等に出席した場合の費用弁償（交通費）・昼食代については支給していない
(平成10年12月廃止)

②行政視察費

ア 各常任委員会 : 実費弁償 上限額一人あたり 6万5千円
イ 議会運営委員会 : 実費弁償 上限額一人あたり 3万3千円
ウ 広報広聴委員会 : 実費弁償 上限額一人あたり 1万7千円

議員の旅費基準（竹原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例より抜粋）

鉄道賃	特別車両料金以外のもの	旅客運賃・急行料金
	特別車両料金・座席指定料金	特別車両列車が運行する区間が片道100km以上の場合における実費
船賃		旅客運賃・寝台料金・座席指定料金
航空賃		実費 ※原則割引制度利用
車賃（1kmにつき）		37円
日当（1日につき）		全路程を通算して60km未満 0円 県内旅行 1,200円 県外旅行 2,000円
宿泊料（1夜につき）		13,000円

（４）政務活動費

- ①交付対象 : 議員（※平成13年4月1日から施行）
- ②交付金額 : 年額240,000円
- ③交付方法 : 議員の申請に基づき、年度当初に交付
- ④運用方法 : 政務活動費の使途を明確にするとともに詳細でかつ議員自らが事務処理できるように「政務活動費の手引き」を策定している。
議員の活動については、「議会だより」や「竹原市ホームページ」で情報公開を行う。

（５）交際費

- 議長交際費 400,000円
- 市長交際費 1,000,000円

4 議会事務局

（１）事務局機構

局 長 ————— 議事庶務係長 ————— 局員

（定数 6人 現員 4人（うち会計年度任用職員1人））

(2) 議会費

令和7年度当初予算

(単位：千円)

項	目	節	予 算 額
議 会 費	議 会 費	報 酬	6 2 , 0 0 7
		給 料	1 3 , 0 8 1
		職 員 手 当 等	3 5 , 8 6 8
		共 済 費	2 2 , 0 2 0
		報 償 費	7 0
		旅 費	2 , 6 1 2
		交 際 費	4 0 0
		需 用 費	2 , 6 7 7
		役 務 費	1 , 5 1 0
		委 託 料	4 , 3 6 3
		使 用 料 及 び 賃 借 料	4 1 8
		備 品 購 入 費	3 4 3
		負担金補助及び交付金	3 , 9 0 9
合 計			1 4 9 , 2 7 8

5 広報活動（議会のPR）

(1) 市議会だより

- ①名称 : 市民と議会
- ②創刊年月日 : 平成6年9月
- ③規格 : A4版 12ページ 1色刷り 表裏はカラー
- ④発行回数 : 年4回 5・8・11・2月の5日発行
- ⑤発行部数 : 10,000部
- ⑥配布先 : 市内全世帯 各行政機関
- ⑦配布方法 : 自治会を通じて配布（市内全世帯）
メール便にて送付（各行政機関）
- ⑧編集方法 : 広報広聴委員会にて検討し、作成
- ⑨価格 : 1部（12ページ）単価 34.32円（消費税込）
34.32円 × 10,000部 × 4回
- ⑩予算 : 1,372,800円

(2) 議会のしおり

竹原市ホームページにて公開

(3) ホームページ

- ①開設時期 : 平成15年4月(令和4年1月リニューアル)
- ②掲載内容 : 市議会の概要、議員名簿、議会傍聴、議会日程、会議録、議決結果、政務活動費報告書、議会だよりなど

(4) CATVによる議会中継

- ①開始時期 : 平成23年6月議会
- ②放送方法 : 生中継及び録画放送
- ③放映内容 : 本会議・予算特別委員会・決算特別委員会(平成30年度～)

(5) インターネットによる議会動画配信

- ①開始時期 : 平成26年6月議会から
- ②放送方法 : 竹原市ホームページの市議会情報からYouTubeへリンク
会議終了後概ね3日後にネットでの配信を行う
- ③放映内容 : 本会議・予算特別委員会・決算特別委員会(平成30年度～)
総務文教常任委員会・民生都市建設常任委員会・公共施設ゾーン
再整備調査特別委員会(令和6年度～)

第3 市の予算

基本目標

- ①産業を活性化させることで賑わいをつくる
- ②竹原への新しいひとの流れをつくる
- ③結婚・出産の希望をかなえ、子育てしやすい環境をつくる
- ④多様な人々がかかわり、竹原の魅力・個性を磨き、元気なまちをつくる

令和7年度会計別予算

(単位：千円・%)

年 度 会 計 別	令和6年度	令和7年度	比較増減	前年度比
一 般 会 計	16,618,442	15,475,213	△ 1,143,229	93.1
国民健康保険特別会計	2,757,095	3,126,294	369,199	113.4
貸付資金特別会計	7,388	7,368	△ 20	99.7
港湾事業特別会計	67,632	67,222	△ 410	99.4
公共用地先行取得事業特別会計	1	117,891	117,890	ほぼ皆増
介護保険特別会計	3,380,751	3,548,420	167,669	105.0
後期高齢者医療特別会計	611,753	608,368	△ 3,385	99.4
下水道事業会計	1,094,612	1,285,344	190,732	117.4
合 計	24,537,674	24,236,120	△ 301,554	98.8

令和 7 年度竹原市一般会計予算(当初予算)

歳 入

(単位：千円・%)

年 度 款 別		令和 6 年度	令和 7 年度	前年度比	構成比
1	市 税	4,787,840	4,608,739	96.3	29.8
2	地 方 譲 与 税	132,856	113,109	85.1	0.7
3	利 子 割 交 付 金	1,278	2,843	222.5	0.0
4	配 当 割 交 付 金	16,803	19,672	117.1	0.1
5	株式等譲渡所得割交付金	17,568	29,120	165.8	0.2
6	法 人 事 業 税 交 付 金	55,740	62,806	112.7	0.4
7	地 方 消 費 税 交 付 金	616,312	609,626	98.9	4.0
8	ゴルフ場利用税交付金	21,725	21,170	97.4	0.1
9	環 境 性 能 割 交 付 金	15,748	14,719	93.5	0.1
10	地 方 特 例 交 付 金	13,395	14,285	106.6	0.1
11	地 方 交 付 税	2,540,330	2,908,880	114.5	18.8
12	交通安全対策特別交付金	1,833	1,990	108.6	0.0
13	分 担 金 及 び 負 担 金	92,535	95,385	103.1	0.6
14	使 用 料 及 び 手 数 料	201,482	203,533	101.0	1.3
15	国 庫 支 出 金	1,780,074	2,095,097	117.7	13.5
16	県 支 出 金	988,955	1,030,036	104.2	6.7
17	財 産 収 入	56,378	56,502	100.2	0.4
18	寄 附 金	210,501	210,001	99.8	1.4
19	繰 入 金	660,612	1,041,972	157.7	6.7
20	繰 越 金	1	1	100.0	0.0
21	諸 収 入	417,546	419,027	100.4	2.7
22	市 債	3,988,930	1,916,700	48.1	12.4
合 計		16,618,442	15,475,213	93.1	100.0

歳 出

(単位：千円・%)

年 度 款 別		令和 6 年度	令和 7 年度	前年度比	構成比
1	議 会 費	147,077	149,278	101.5	1.0
2	総 務 費	4,131,929	2,479,416	60.0	16.0
3	民 生 費	4,946,609	5,052,998	102.2	32.7
4	衛 生 費	951,027	1,042,619	109.6	6.7
5	労 働 費	41,505	41,518	100.0	0.3
6	農 林 水 産 業 費	194,519	265,837	136.7	1.7
7	商 工 費	383,432	421,606	110.0	2.7
8	土 木 費	2,864,037	2,565,409	89.6	16.6
9	消 防 費	576,558	721,893	125.2	4.7
10	教 育 費	987,898	1,279,329	129.5	8.3
11	災 害 復 旧 費	115,000	61,300	53.3	0.4
12	公 債 費	1,248,851	1,384,010	110.8	8.9
13	予 備 費	30,000	10,000	33.3	0.0
合 計		16,618,442	15,475,213	93.1	100.0

令和7年度一般会計財源別分類

(単位：千円・%)

区 分	当初予算額	構成比
1 自 主 財 源	6,635,160	42.9
2 依 存 財 源	8,840,053	57.1
合 計	15,475,213	100.0

1 一 般 財 源	9,330,492	60.3
2 特 定 財 源	6,144,721	39.7
(1) 国 庫 支 出 金	2,095,097	13.5
(2) 地 方 債	1,916,700	12.4
(3) そ の 他	2,132,924	13.8
合 計	15,475,213	100.0

令和7年度一般会計性質別歳出

(単位：千円・%)

区 分	当初予算額	構成比
1 義 務 的 経 費	6,634,730	42.9
2 投 資 的 経 費	2,564,094	16.6
3 そ の 他 の 経 費	6,276,389	40.5
合 計	15,475,213	100.0

財政状況

(令和5年度普通会計決算カードより)

区 分	令和4年度	令和5年度
財 政 力 指 数	0.67	0.71
実 質 収 支 比 率	6.6	6.6
経 常 収 支 比 率	91.6	93.4
実 質 公 債 費 比 率	8.3	8.6